

vol.
794

Compass

 <http://nikkenkyo.jp/>

 info@nikkenkyo.jp

9

September
2012

日建協

2012年度 日建協の活動 & 本部役員

日建協 第89回定期大会

**夢は大きく心はひとつに
魅力ある建設産業をともに創ろう**

第2回 時短アイデア大賞・図画コンクール

みんなのアイデアを時短につなげよう!

土木作業所で働く組合員の労働環境改善をめざして
魅力ある建設産業にむけた4つの提言

ちょっとひといき...

スカイツリーにいつてきました。

共済制度で自分の将来をじっくり考えてみませんか?

日建協アーカイブス③...転換期(1977年~1984年)

続・東西組合細見 17 — 西松建設職員組合
クロスワードタイム 他

2012年度 日建協の活動 & 本部役員

😡 : 今年度の抱負
😊 : マイ・ワーク・ライフ・バランスは？

働きがい・産業としての魅力・労働条件の向上

● ～私たちのワーク・ライフ・バランスをめざして～ ●

【外部にむけた活動】

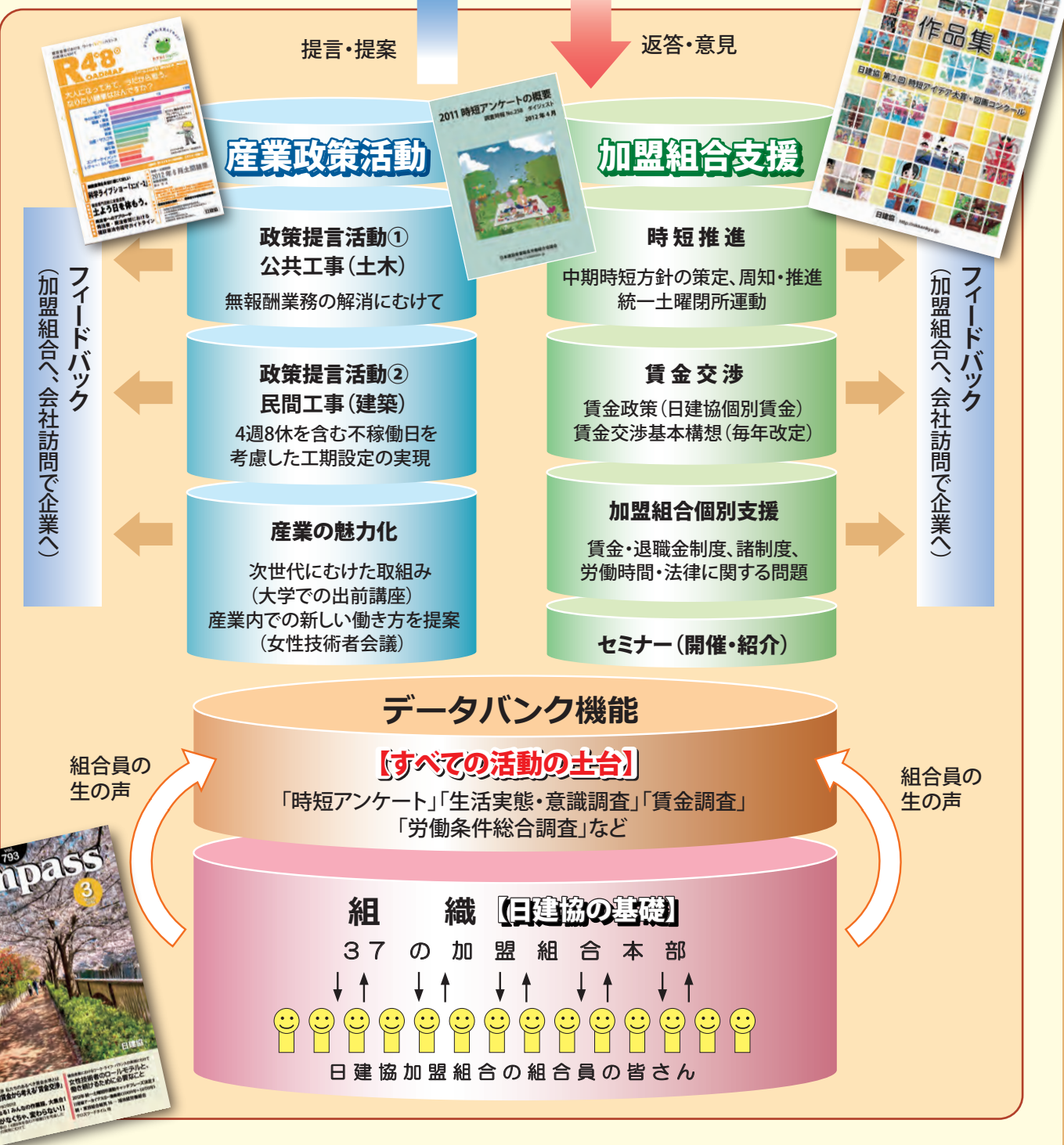
発注者

業界団体

行政機関

労働団体

【日建協内での活動】



やまだ えいじ
山田 栄治
議長
戸田建設職員組合
建築

😡 時代の混迷に流されることなく、誰もが働きがいと働く魅力を感じられる建設産業をともにつくっていきましょう。今年1年よろしく願います。

😊 余暇をまず早めに段取りすると、がちち仕事をして苦になりません。ちよっと先の楽しい時間を自分で描くことがマイ・ワーク・ライフ・バランス。さて今度の休みの予定は？

もろさわ まさのり
諸澤 正毅
副議長兼
政策企画局長
ハザマユニオン
土木

😡 魅力ある建設産業をめざし、まげず行動する。「止まることなく、動き続けていれば、良い結果につながる」をモットーに1年間がんばります。

😊 楽しい予定をたくさんつくり、その時間を確保するために、日々の業務を無駄なく効率的に行うよう努めています。

ひらやま かつき
平山 勝基
副議長兼
組織局長
西松建設職員組合
事務

😡 建設産業で働くみんなの声を「カタチ」に変えられるように頑張ります。

😊 良き家族と良き仲間、少年野球とロードバイクによって、大変充実した日々を過ごしています。趣味と家族のバランスが崩れないよう、家内とコミュニケーションを図ることが一番のポイントです。

しぶかわ あきら
澁川 明
事務局長
三井住友建設
社員組合 事務

😡 事務局長として組織をまとめる立場となり、未熟な私には不安がいっぱいですが、加盟組合の皆さんのご支援を頂きながら組織を盛り上げるべく全力で活動を進めていきます。

😊 趣味の鉄道写真撮影は、これからも続けていきます。「ワーク」の活ににつながるよう、バランスを取りながら思う存分「ライフ」を満喫します。家族サービスも忘れません。

ふくやま たけお
福山 剛男
政策企画局次長
(労働条件)
奥村組職員組合
土木

😡 建設業界を取り巻く環境が激変する中、私たち組合員が安心して、やる気を出し、働きがいを感じながら仕事ができる環境の実現を目指して頑張りたいです。

😊 4月に3男が誕生し、日々の成長が楽しみです。仕事と生活のバランスは、自分の意識で実現できる部分もあると思います。家族の為にその努力は惜しまずやろうと思います。

にしより たかし
西依 隆
政策企画局次長
(労働条件)
東洋建設職員
労働組合 事務

😡 加盟組合員の皆さんが日建協を意識できるよう心がけながら、昨年度よりも1歩踏み込んだ活動をしていきたいと思います。

😊 職場も家庭も笑顔にあふれていることが私のワーク・ライフ・バランスです。少しでも楽しく過ごせるように努力しています！

さとう ともひろ
佐藤 友厚
政策企画局次長
(産業政策)
飛鳥建設労働組合
土木

😡 1年間日建協で学んだ事をいかし、組合活動に励みます。組合員のみなさんのワーク・ライフ・バランスの実現につながるよう活動を進めていきたいと思います。

😊 休日は少年野球のコーチと地域、学校、幼稚園行事のスタッフをしています。最近はライフが徐々にワークになりつつあります。報酬は数えきれない子ども達の笑顔です。

しばた ゆう
柴田 雄
政策企画局次長
(産業政策)
鉄建建設職員組合
事務

😡 組合員のみなさんと魅力ある建設産業を実現できるよう労働環境の改善にむけて活動していきます。活動が少しでも前進するよう1年間、頑張ります。

😊 ワークもライフも「ぼどぼど」を心がけていますが、熱くなりやすい性格からどちらか度を越えてしまいます。いつも充実している証拠だと思っています！

とどう たかし
登藤 高司
政策企画局
(労働条件)
フジタ職員組合
事務

😡 日建協活動スタートしました。建設業の明るい未来のために自分に何ができるか？ 期待と不安のスタートですが、とにかく前向きにがんばります。

😊 休日は、ほぼ地元の少年サッカーチームの手伝いです。無邪気な園児、小学生を相手に「子供心」を取り戻せる貴重な時間です。目指せ、神奈川チャンピオン！

すみ しんや
角 真也
政策企画局
(産業政策)
五洋建設労働組合
事務

😡 建設産業の更なる魅力向上の実現のために、組合員のみなさんの声を大切に、しっかりと地に足をつけて活動してまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

😊 6か月先といった長期のスパンで余暇計画を立てる事です。先の予定でうきうき、その分仕事にも力が入るといった感じでしようか。後は、少しのお酒と少しのスポーツです。

うえむら よしてる
植村 芳輝
組織局
シミズユニオン
事務

😡 建設産業の魅力向上にむけて、目の前の小さなことから全力で取り組んでいきたいと思います。

😊 オフは海や山に出かけて活発に活動しています。自分の幅を広げることに貪欲になって、いろいろなことにチャレンジすることは、オンにも良い効果があるのではないかと思います。

今年はこのメンバーで頑張ります！

つかもと ふくじ
塚本 福二
事務局

😡 日建協事務局員として残りわずかとなりました。温故知新の精神で資料整理を中心に頑張ります。

😊 ライフについては、減量・減酒・減煙を目指したい。仕事については、「今年度の抱負」プラス減ストレスを目指したい。

まつい ひさえ
松井 久恵
事務局

😡 組合員の皆さんのがんばりが少しでも反映されるように、新しい体制の執行委員と共に、今年度も頑張っています。

😊 仕事はしっかり働き、休みの時は自分の生活を楽しむことにつきます。これからの人生、自分をもっと楽しめるものを増やしたいです。

いで ますみ
井出 真澄
事務局

😡 日建協ホームページはいよいよリニューアルしました。まだ全面開通していませんが、よりスムーズに、使いやすいよう更新して行きますので、ぜひご覧ください。

😊 今年は秋に初の友人と二人でのユニット・ライブを予定しています。その練習のため、ライフは忙しくなりそうです。太極拳で体をほぐしてがんばります。

やぎ のりこ
八木 規子
事務局

😡 共済制度のお問い合わせをお待ちしています。今の残高から年金受取額の試算等もできますので、お気軽にお申し出ください。

😊 ワークの時には全力で、ライフは自分の時間がたっぷりあるので最近では何か完成させる予定です。

日建協 第89回 定期大会

夢は大きく 心はひとつに 魅力ある建設産業をともに創ろう

8月2日、3日の両日、東京（日暮里）のホテルラングウッドにおいて日建協第89回定期大会を開催しました。2012年度の日建協活動のスタートとなる本大会には加盟組合から代議員と多数の傍聴者が出席し、活動方針について活発な議論が交わされました。



2011年度活動報告

2011年度の日建協は、「ともに歩もう ともに創ろう建設産業の新しい明日を」のスローガンのもと、建設産業の魅力向上にむけた活動、特に建設産業が抱える課題解決にむけた政策提言活動および加盟組合支援としての時短推進に重点をおいて活動してきました。大会ではこれらの活動と決算報告の審議が行われ、出席代議員全員の賛成により、2011年度の日建協活動報告等が可決・承認されました。

役員改選・2012年度活動方針(案)他説明

2011年度の活動報告承認後、2012年度役員の選挙が行われ、新執行委員が選出されました。選挙後、選出された新執行部を代表し、山田議長より新年度にむけた強い決意を込めた挨拶を行いました。

続いて、執行部より2012年度の活動の基調と個別活動方針（産業政策活動、加盟組合支援、データバンク機能の維持、組織）の説明を行い、大会初日は終了しました。

分散会討議・議案採決

大会2日目では、前日に行われた2012年度の活動方針（案）について、3つの分散会で討議を行い、出席代議員と日建協執行部で活発かつ熱のこもった議論を繰りひろげました。続いて午後からの全体会議において各議案が審議され、分散会で十分な議論が尽くされた2012年度の活動方針（案）は代議員全員の賛成により、可決・承認されました。

以上で日建協第89回定期大会は閉会しました。大会議長、分散会主査・副主査、各委員の皆さま、大会をお手伝い頂いたスタッフの皆さま、ご協力ありがとうございました。



左から
山口大会議長
(鴻池労組
中央執行委員長)

渋谷大会議長
(フジタ職組
執行委員長)

大会の様子



【分散会で出た主な意見等】

- ・「日建協個別賃金」は、加盟組合の賃金交渉において貴重なデータなので、日建協として活用が進むようアピールして欲しい。
- ・土木工事の提言については、地方整備局だけでなく、工事事務所の担当者など最前線にまで浸透するような提言をして欲しい。また経過をしっかりと発信して欲しい。
- ・4週8休は、現状と乖離している。工期短縮は会社の経営にも関係する。提言のみならず、解決のためには受注者側の企業や業界団体側の協調、取り組みも必要なので対応して欲しい。
- ・各加盟組合での時短推進取り組み事例の効果をまとめて日建協で展開して欲しい。
- ・加盟組合間交流会の実施について、早めの計画決定、周知をお願いしたい。期待している。
- ・帰宅旅費の非課税化について、連合に強く意見発信し、Compassでも取り上げて欲しい。
- ・出前講座について、他大学の新規開催にむけ取り組んで欲しい。

[分散会で頂いた貴重なご意見を大いに参考にさせて頂き、これから1年間活動を進めていきます]

議長挨拶

「健康で働きがいのある、魅力ある産業」をめざして

日建協 議長 山田 栄治

私たち日建協にとって重要なことは、建設産業における産業別労働組合として、一組合では取り組むことのできない活動を行うことです。日々最前線で働いている組合員の皆さまの声を、様々な発信先に訴え続けていくことが日建協の使命だと考えています。

2012年度の活動にあたり、「夢は大きく 心はひとつに 魅力ある建設産業をともに創ろう」をスローガンに掲げ、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」「受発注者間の対等な関係の確保」「適正工期で受発注できる環境」「誰もが働き続けられる環境」の4つのキーワードを挙げました。このキーワードの実現にむけた道筋が少しでも見出せるように、日建協新執行部11人は全力で活動します。そして建設産業が「健康で働きがいのある、魅力ある産業」となるよう、日建協加盟組合員約32,000名の心をひとつに、一歩ずつ前進していきたいと思います。

どうぞご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



大会ご来賓からのメッセージ

日本労働組合総連合会（連合）
会長 古賀 伸明 様

連合は震災復興への取り組みから、日本全体の再生につなげていきます。「働くことを軸とする安心社会」を提唱し、公正な労働条件を保ち、めざすべき社会像を提示していきます。日建協の皆さんの熱心な討議で更に活動が前進することを期待します。



厚生労働省 職業安定局
建設・港湾対策室長 福士 亘 様

日建協の時短アンケートはち密な分析であり、自部署でも活用させて貰っています。対策室では職場環境を改善し、若年労働者がなかなか入職しない、技能継承できない問題の解決のために新しい助成金制度の構築を検討しています。建設産業の明るい将来のために皆さんも一緒に取り組みましょう。



内閣府 男女共同参画局推進課長
仕事と生活の調和推進室参事官 小林 洋子 様

日建協では、統一土曜閉所運動を10年以上も継続して取り組まれており敬意を表します。女性技術者会議の開催もワーク・ライフ・バランスの実現にむけた素敵な活動だと思います。内閣府でも女性の力の必要性を発信しています。これからもワーク・ライフ・バランス実現にむけ一緒に取り組みましょう。



建設産業労働組合懇話会 代表
建設連合 中央執行委員長 星野 康幸 様

震災後において、「建設を通じた街づくり」に建設産労懇の多くの仲間が関係したと自負しています。外部で時々「震災特需」の言葉を聞きますが、この思いやりのない言葉に抵抗を感じます。組合活動では相手の気持ちを思いやる必要があります。新しい3K（カッコいい、感動する、稼げる）産業となるよう、共に頑張りましょう。



名刺交換会

大会に引き続き、多数のご来賓と加盟組合役員の出席のもと、名刺交換会を開催しました。冒頭の山田議長の挨拶の後、ご来賓の方々からの激励とご祝辞を頂き、加盟組合を代表し、飛鳥建設労働組合 上杉本部執行委員長より乾杯のご発声を頂きました。

会は終始、和やかな雰囲気が進み、途中2011年度をもって退任した日建協役員の挨拶があり、最後は2012年度の日建協新執行委員が自己紹介と2012年度にむけた抱負をのべ、閉会となりました。



ご来賓のみなさま：左から
・日本労働組合総連合会（連合） 副事務局長 水谷 雄二 様
・社団法人 日本建設業連合会（日建連） 事務総長 有賀 長郎 様
・国際建設林業労働組合連盟 日本加盟組合協議会（BWI-JAC）議長 河田 伸夫 様

～退任にあたって～

遠藤前事務局長

この第89回定期大会にて、日建協本部を退任致しました。皆さまのお力添えのおかげで無事任期を全うすることができました。加盟組合の皆さま、3年間本当にありがとうございました。日建協には建設産業を代表する産業別労働組合として、これからも加盟組合の皆さんの声を聞きながら、新しい建設産業の実現にむけて活動を続けていくことを期待しています。



今回退任したみなさん
左から 出田前副議長、
遠藤前事務局長、寺田前副議長

新年度のスタートにあたり、日建協執行部一同、気持ちを新たに引き締め、私たちの労働環境の向上にむけて全力で活動していきます。加盟組合員の皆さん、今後ともどうぞよろしくお願いします。

みんなのアイデアを 時短につなげよう！

～第2回時短アイデア大賞・図画コンクール開催～

時短に取り組むきっかけに！

日建協では長時間労働の解消をめざし、加盟組合で連帯して時短を推進していくために、「日建協 時短アイデア大賞」を開催しています。時短アイデア大賞は、建設産業で働く私たちの経験や知恵を募集して、寄せられた良いアイデアや事例を水平展開することで、みなさんの時短が実現することを目的としています。

第1回時短アイデア大賞作品は広く展開され、建設産業全体の時短推進に貢献しています。2回目となる今回も、加盟組合のみなさんから多くの素晴らしいアイデアが集まりました。応募いただいたアイデアや事例をご紹介しますので、みなさんが時短に取り組む‘きっかけ’や‘ヒント’になれば幸いです。

第2回時短アイデア大賞受賞作品



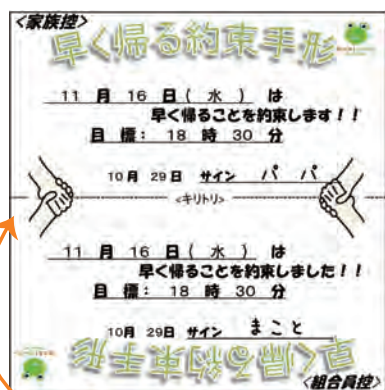
大賞

休日約束手形と早く帰る約束手形



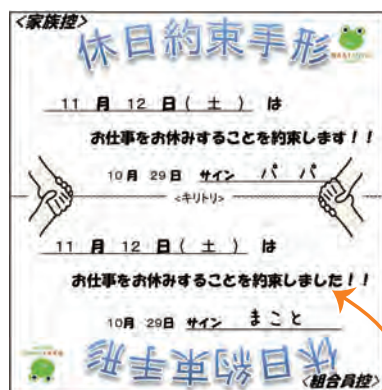
受賞者：
伊與田 尚秀さん
名工建設職員組合

家族と団楽の時間を約束する
「早く帰る約束手形」



中央で切り離し、約束手形の片方
を持って、職場に掲示します。

旅行やイベントなど、家族と共に過ごす
一日を約束する「休日約束手形」



ご家族と約束のサインをお互いに
書きます。

<アイデアの内容>

休日や早く帰る日時を家族と共に「約束手形」として形にします。それぞれ控えを持つことで、休日の取得や早く家に帰ることを意識すると同時に、効率的な業務遂行を考えます。どんな紙でも手軽に作ることができます。

<家族や大切な人との"絆"を休む意識へ>

『休日約束手形』や『早く帰る約束手形』を家族や大切な人と交わすこと、つまり、強固な約束（絆）によって、休むこと、早く帰ることの大切さを改めて認識していただくことで時短につなげ、家族をはじめとする大切な人たち、そして働く組合員の笑顔に結びついたらいいなあ、と思います。そして、ワーク・ライフ・バランスの実現、ココロとカラダの健康の維持、魅力的な職場、建設業界を創っていくことへのひとつのツールとして活用いただければ、というのが私の願いです。



優秀賞

標語入り土曜閉所運動ヘルメットステッカー



『生活の充実度向上が、
仕事の充実度を上げる！』
2011年11月12日と
2012年 6月 9日は、
日建協統一土曜閉所日です。

『休むことの大切さを
再認識しよう！』
2011年11月12日と
2012年 6月 9日は、
日建協統一土曜閉所日です。



受賞者：
林 洋平さん
大和小田急建設労働組合

<取り組み内容>

統一土曜閉所に関する標語を書いたステッカーを作成し、各作業所に配布してヘルメットにつけてもらいます。統一土曜閉所を通じて、作業所に勤務している方全員の時短への意欲が高まるようにとの思いから作成・実施しています。

<「継続して言い続け、お互いに確認し合おう」という思いを込めて>

お互いが顔を合わせて会話をする中でヘルメットに貼ってあるステッカーを見ることにより、土曜閉所の認識を高めることができればとの思いで作成しました。土曜閉所の認識が少しでも向上するきっかけになれば嬉しく思います。



優秀賞

残業目覚ましウィンドウ



所定外労働時間に入
ったことを知らせ、
終了目標を自ら立て
ます。



業務終了時間を
知らせます。



受賞者：
金澤 郁人さん
戸田建設職員組合

<アイデアの内容>

パソコンに表示される【ポップアップ】を利用して時間外（所定外労働時間）の業務効率化を図ります。時間外の勤務時間設定を、目標を持って自ら定めて実行していくことにより、時間外に対する取り組みの工夫を見直していくことができると考えます。

<自己意識を変えることが時短に繋がる>

自ら率先して得た時間は、視野を広め、自らの趣味や家族と過ごす時間に有意義に使うことができると思います。今回のアイデアが実現し、時短への取り組みに活かされることで、みなさんの生活の充実に寄与することができればと思います。

他にも多くのアイデアが集まりました！ありがとうございます！

大賞、優秀賞のほか入選作品には、「ノー残業当番」「クリーンにノー残業デー」「クッキングパパ!!」「帰りま週間」「出勤予定を明確にして、休日取得の促進」が選ばれました。そのほかにもアイデア、取り組み事例など多くの時短の知恵が集まりました。アイデア・事例は作品集として、日建協ホームページに掲載しています。ぜひご覧下さい。たくさんのご応募、ありがとうございました。

第1回時短アイデア大賞の作品展開状況！

第1回時短
アイデア大賞作品
『帰宅時間申告ボード』



第1回時短
アイデア優秀作品
『私の休日宣言』



前回の受賞作品に選ばれた「帰宅時間申告ボード」は、これまでに2万5千個以上製作されました。多くの組合員や建設産労組の仲間に配布され、建設産業全体の時短に貢献しています。

また、その他のアイデア作品も多く活用され、時短への意識は徐々に高まっています。

第2回図画コンクール 「家族で休みの日にしたいこと！」

第2回図画コンクールでは、「家族で休みの日にしたいこと」をテーマに、168作品もの応募がありました。今回も力作揃いで、選考には審査員も頭を悩ませましたが、金賞6作品、銀賞9作品が選ばれました。それぞれの図画に込められた家族の思いを受けとめ、ワーク・ライフ・バランスの実現、休日のありかたを考える“きっかけ”にしていきたいと思います。



『きりんさんにとって 白くまやペンギンと 家族みんなでさんぽをしたいなあ』
松岡 理沙さん(年長)
(松岡 雅代さん:シミズユニオン)



『おばあちゃんと畑でとったよ。なすとトマト』
尾石 陽菜さん(小学3年)
(尾石 勝明さん:浅沼組職員組合)



『単身赴任中のパパへ パパの住んでる町。パパ、また会いに行きよ!』
田村 洸樹さん(小学4年)
(田村 秀子さん:五洋建設労働組合)



『たこあげとボール遊び』
中西 彩子さん(4歳)
(中西 貴彦さん:大鉄工業労働組合)



『こわかったね 仁王さん』
高橋 柚奈さん(小学1年)
(高橋 義弘さん:飛鳥建設労働組合)



『夏はやっぱり祇園祭り』
尾石 瑠依さん(小学6年)
(尾石 勝明さん:浅沼組職員組合)

第2回時短アイデア大賞・図画コンクール受賞式を開催しました！

第2回時短アイデア大賞と図画コンクールの受賞式を日建協の定期大会にあわせて開催し、加盟組合の代議員や受賞したお子さんご家族など多くの方々に出席していただきました。受賞式では、時短アイデア大賞の受賞者8名と、図画コンクールを受賞したお子さん15名に賞状と記念品を手渡し、受賞作品の紹介、記念撮影等を行いました。子供たちの可愛い仕草に大きな拍手が送られ、賑やかな受賞式となりました。

図画コンクールに応募していただいた全作品は、会場のロビーに展示し、多くの方々に見ていただきました。ご覧になった方々は、きっと「次の休日には家族と何をしようか」と思いを馳せていたのではないのでしょうか。



図画の前で記念撮影をするご家族



多くの方に出席していただいた受賞式



みなさん上手に賞状を受け取りました



スピーチをするアイデア大賞受賞者(伊與田 氏)



時短アイデア受賞者のみなさん



図画コンクール受賞者のみなさん

建設産業のみんなに時短の意識が 広がるように！

詳しくは、日建協 第2回時短アイデア・ 図画コンクール冊子をご覧ください！



(7月6日付建設専門紙掲載記事) (6月8日付建設専門紙掲載意見広告)

みなさんからたくさんの応募をいただいた第2回時短アイデア大賞・図画コンクールの取り組みは、建設専門紙で時短推進の取り組みとして紹介されました。

日建協では今後、加盟組合企業や経営者団体、行政などに対し、労働時間短縮にむけたさらなる努力や協力を要請するために、私たち組合員自身の時短への取り組みとして紹介していきます。建設産業全体へ時短の意識が広がるように、日建協活動をととして積極的に展開していきます。

今回、開催された時短アイデア大賞・図画コンクールの詳しい内容を「第2回時短アイデア大賞・図画コンクール作品集」としてまとめました。日建協ホームページに掲載していますので、ぜひ一度ご覧下さい。

すでに時短に取り組まれている方も多いと思いますが、みなさんから寄せられたアイデアを毎日の仕事に活かし、時短を推進していただくことで、長時間労働の解消につながるものと考えています。みなさんのアイデアを時短につなげていきましょう！

★日建協ホームページ(<http://nikkenkyo.jp/>)にて、「日建協 第2回 時短アイデア大賞・図画コンクール 作品集」を公開中です。



『大好きな野球』
那須 博登さん(年長)
(那須 功司さん:西松建設職員組合)



『雪あそび』
伊崎 祥知花さん(3歳)
(伊崎 貴文さん:名工建設職員組合)



『みんなで釣りたいなあ』
大櫃 比呂さん(年長)
(大櫃 稔弘さん:フジタ職員組合)



『ほんもののシャチにのったよ』
杉浦 慶士さん(小学1年)
(杉浦 健吾さん:シミズユニオン)



『今夜のおかずゲット!』
高村 梨花さん(小学2年)
(高村 英生さん:佐藤工業職員組合)



『海のおさんぽ家族』
細野 朝子さん(小学3年)
(細野 晋作さん:シミズユニオン)



『家族で行って楽しかった思い出』
深津 惟有さん(小学5年)
(深津 有彦さん:奥村組職員組合)



『家族で食べるなべ』
山田 睦綺さん(小学6年)
(山田 昌敬さん:名工建設職員組合)



『また行きたい 楽しかった室生寺』
高橋 若奈さん(小学6年)
(高橋 義弘さん:飛鳥建設労働組合)

魅力ある建設産業にむけた4つの提言

土木作業所で働く組合員の労働環境改善をめざして

1. はじめに

日建協は、これまで国土交通省の施工円滑化にむけた施策を活用することが、公共工事に従事する組合員の労働時間の短縮につながるのと考えから提言活動を実施してきました。

しかし、これまで日建協が取り上げていなかった、総合評価落札方式や低価格受注などの要因により、長時間労働など労働環境へ影響が出ているとの声があり、2011年1月に日建協加盟組合の土木工事作業所を対象に「土木総合アンケート」を実施しました。

その結果をもとに労働環境の改善をはかるため、加盟組合から派遣された土木アドバイザーと議論を重ね、地方整備局をはじめとする発注者に対して、作業所における労働環境の実態を伝えるとともに、問題の解消にむけた提言活動を行いました。

今号では、「土木総合アンケート」の結果から作成した提言内容と、2012年4月から6月にかけて提言活動を行った、東日本大震災の影響が残る東北地方整備局を除く全国7地方整備局と北海道開発局からの主な回答を紹介します。

2. 地方整備局への提言

(1) 総合評価落札方式について

総合評価落札方式は公共工事の入札・契約に関する透明性の確保のために導入されましたが、その一方、組合員の長時間労働につながっているのでは、との声があがりました。

アンケートでは、国土交通省など、中央官庁の作業所の半数以上で総合評価落札方式が長時間労働につながっていると答え、その理由を聞くと、技術提案の履行に関するものや、技術提案の作成に関するものが多くありました。(図-1)

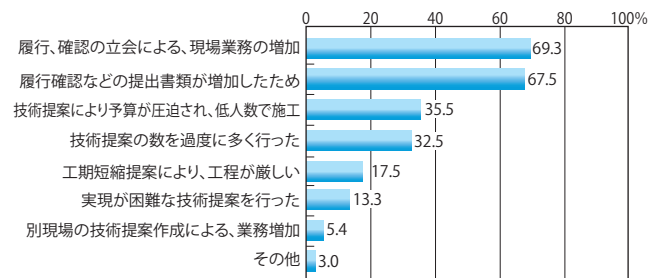


図-1 総合評価落札方式が長時間労働につながっている理由 (3つ以内選択)

提言① 総合評価落札方式のあり方を見直し、私たち受注者に労働負荷を強いる仕組みを改める必要があります。

- 1) 技術提案において加点評価されなかった提案項目については履行証明の必要をなくすべきです。
- 2) 技術提案のテーマ選定において、工期短縮はとり扱うべきではありません。
- 3) 技術提案の提案数には引き続き制限を設けるべきです。

回答

- ・加点評価しなかった項目は監督員と協議のうえ、標準案相当と判断されれば履行の必要は無い。(中部、九州)
- ・標準型技術提案では、立体交差点工事の渋滞対策などで工期短縮を設定するケースもあるが、基本的には工期短縮のテーマは少ないと認識している。(北海道、中部、中国、九州)

(2) 低価格受注について

低価格受注は、企業の体力を奪うだけでなく、そこで働く私たちの健康に悪影響を与え、さらにワーク・ライフ・バランスの実現も阻んでいます。

アンケートで、低価格受注が長時間労働につながっているかを聞き、落札率別に整理してみました。(図-2) また、受注価格が長時間労働につながっている理由を聞くと、約8割の作業所が経費削減による少人数施工を理由にあげました。

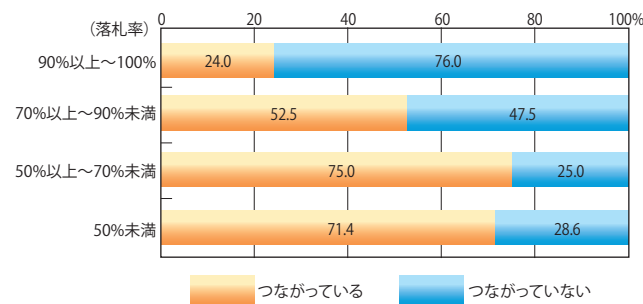


図-2 低価格受注が長時間労働につながっているか

提言② 過当競争により低価格受注に陥り、労働環境の悪化につながっている現状を変える必要があります。

- 1) 調査基準価格の引き上げを行うべきです。
- 2) 失格基準を設け、基準を下回った業者は特例などを設けずに即失格とすべきです。

回答

- ・平成20年、21年、23年に引き上げを行っている。本省で検討しているので、今回の提案は本省に伝える。(全地整)
- ・会計法、予算決算及び会計令があり、失格基準を設けることができない。まずは法の改正が必要である。(九州)

(3) 工期設定について

アンケートで半数を超える作業所から工期設定が長時間労働につながっている、との回答がありました。

また、その理由を聞くと、4週8休の工期設定が実現できなくなる内容が多くありました。(図-3)

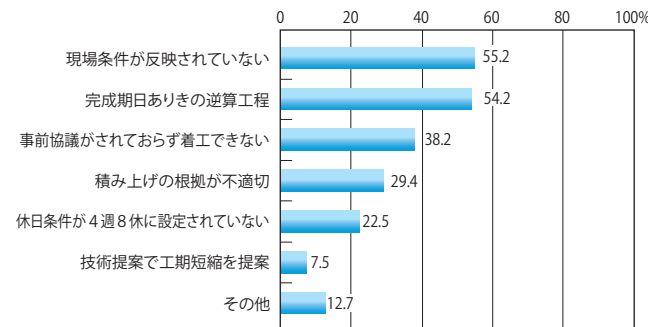


図-3 工期設定が長時間労働につながっている理由 (3つ以内選択)

提言③ 現場条件を加味した、4週8休による工期設定を徹底すべきです。また、民間工事においても同様な観点から、4週8休による工期設定が必要です。

- 1) 国土交通省は、現場条件を加味した、実際に4週8休が設定できる工期を設定すべきです。
- 2) 国土交通省は、他発注機関に対して、工期設定に関わる指導を行うべきです。

回答

- ・直轄工事ではすでに4週8休の設定をしている。工事中に異常気象や不測の事態が発生した場合は、工事の一時中止や工期の延伸など、柔軟な対応を指導している。(北海道、北陸、四国、九州)
- ・中央官庁、自治体、公共性の高い民間企業が集まる発注者協議会等をつづいて、地方整備局が取り組んでいる施策の情報提供をしていく事が重要と考えている。(北陸、中部、近畿、九州)

(4) 片務性について

片務性とは発注者という優位的立場を利用して、受注者に理不尽な要求を行うことです。

本来、受注者と発注者は対等な立場です。しかし、アン

ケート結果からは、半数を超える作業所で、受注者と発注者の間の片務性が長時間労働につながっていると回答があり、その理由には、発注者の優位的立場を利用した内容が多くありました。(図-4)

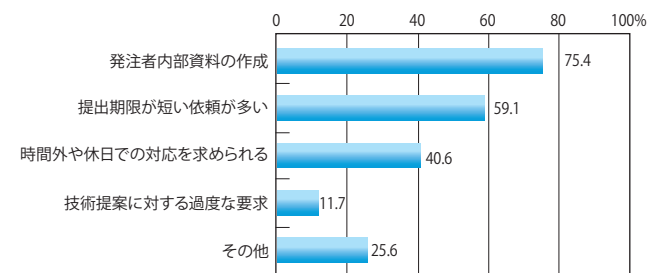


図-4 片務性が長時間労働につながっている理由 (3つ以内選択)

提言④ 片務性を解消し、受注者と発注者双方が対等な立場で業務が行わなければなりません。

- 1) 発注者が優位的な立場を利用して期間に余裕がない業務指示などを行うべきではありません。
- 2) 国土交通省は、業務の円滑化に関する施策の他発注機関への展開を行うべきです。

回答

- ・地方整備局の局員が現場を巡回し、監督職員を交えずに直接現場代理人と会話をする、巡回現場会議の取り組みを行っている。(関東)
- ・他発注機関への施策の展開については、発注者機関が集まる会議の中で円滑な工事の執行をめざし、官民共同の取り組みを行っている。(北海道、北陸、中部、近畿、中国、九州)

3. 今後の日建協の取り組み

今回の提言活動で、地方整備局も総合評価落札方式などの要因が、長時間労働など作業所の労働環境に悪影響を与えていることに理解を示し、労働環境の改善につながる回答が得られました。今後日建協では、作業所のさらなる労働環境改善につなげるべく、国土交通省本省に対しても意見交換を実施する予定です。

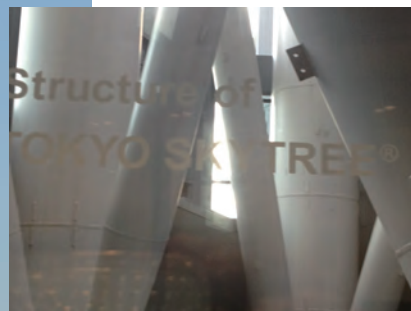
また、これらの活動は加盟組合のみなさんの声がもとになっています。日建協ではこれからも土木アドバイザーとともに、土木工事作業所の労働環境改善につながる提言活動を行ってまいります。

今後も日建協の活動にご理解、ご協力をお願いします。

★2012年度土木アドバイザーは次号紹介をします。

ちょっとひといき... スカイツリーにに行ってきました。

2008年7月の着工以来、日本中が注目していた「東京スカイツリー」がついに2012年5月22日、オープンしました。全高634mは、2012年現在、自立式電波塔としては世界一の高さで、人工の建造物としても、ブルジュ・ハリファ(ドバイ)の828mにつく世界第2位の高さです。建設産業に携わる者として、世界に誇れる超高層タワーに早く登ってみたい一心でインターネットにて応募したところ、抽選に当たった私たちは、オープンから約1週間後、天空の世界に行ってきました。その感動をみなさんにお伝えします！



ここでチケットを受け取ります。いよいよ未知の高さへと思うと、胸の高まりが収まりません。

エレベーター内部。40人乗りが4基あります。分速600mで、展望デッキまで約50秒で到着します。

1階でツリーの鋼管部分を間近に見ることができます。

東京スカイツリーは、東京タワーの建造時(1957～1958年)に比べて鋼材の品質や溶接技術、各種構造計算などの設計技術、基礎部の特殊な工法が飛躍的に進歩したことにより、東京タワーの建築面積を大きく下回る面積で、建設が可能となっています。

また、主要接合部が溶接によって建設されており、鋼管同士を直接溶接接合する分岐継手を採用し、溶接はすべて手作業で行われたそうです。この東京スカイツリーは、日本が育んできた技術の結晶とも言えるでしょう。



上海タワー (中国)

1995年開業。正式には「東方明珠電波塔」という。また、英語での名称は「オリエンタルパールタワー」。個性的なデザインが目をひく。

クアラルンプール・タワー (マレーシア)

クアラルンプールのランドマークとして1996年に開業。「KLタワー」とも呼ばれている。地上276mの地点に展望台がある。

東京タワー

1958年に開業した電波塔。航空法に基づき、赤白2色のカラーリングが施されている。設計者はさっぽろテレビ塔や名古屋テレビ塔と同じ内藤多仲氏。

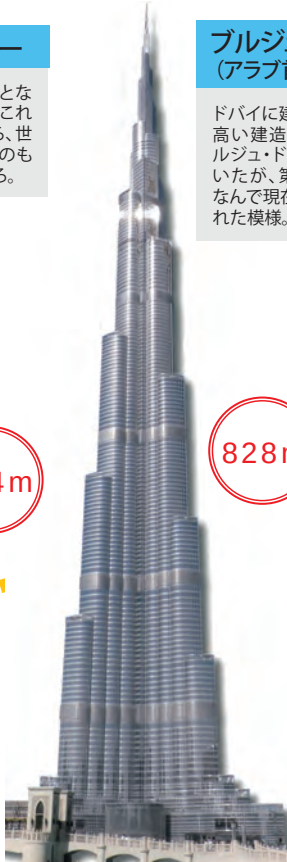
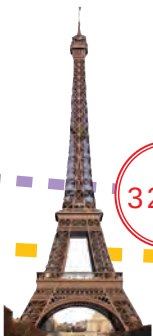
エッフェル塔 (フランス)

フランス革命100周年、万博のモニュメントとして建設され、1889年に開業。名称はタワーの設計を担当したエッフェル氏の名前が由来となっている。

世界のタワー・建造物とスカイツリー

牛久大仏

正式名称は「牛久阿弥陀大佛」。茨城県牛久市にある日本一大きい大仏像。人差し指だけでも7mもある。大きさもなんと4,000tを誇る。



ブルジュ・ハリファ (アラブ首長国連邦)

ドバイに建設された世界一高い建造物。かつては「ブルジュ・ドバイ」と呼ばれていたが、第2代大統領にちなんで現在の名称に変更された模様。



高さ350mの天望デッキ。



展望デッキからエレベーターに乗り、高さ450mの展望回廊へ。最後の高さ5mはスロープになっていて、自分の足で登ります。



ゲストがいける最高地点

ソラミちゃんも現在地点を教えてください。



右側の建物は商業施設「東京ソラマチ」



まるで飛行機の上から見ているようでした。



プレゼント

東京スカイツリーオリジナルグッズを抽選で5名の読者のみなさんにプレゼントします。



プレゼントの応募要項

官製はがきに住所・氏名・年齢・加盟組合名をご記入の上、日建協本部へお送りください。

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3階「日建協プレゼント係」

締切 2012年9月30日 (消印有効)

※当選者発表は発送をもって代えさせていただきます。

日本の建築技術はすごい!!

今回東京スカイツリーに初めて訪れて、あまりの巨大さに度肝を抜かれました。この巨大な建築物を3年半で作上げた日本の建築技術の高さに、同じ建設産業に携わる者として誇りを感じました。このプロジェクトに携わった方のご苦勞を思いながら、みなさんもぜひ東京スカイツリーに行ってみてはいかがでしょうか。

オスタンキノタワー (ロシア)

1967年開業。世界で初めて500mの高さを超えた自立式電波塔。ソビエト連邦誕生のきっかけとなった十月革命50周年を記念して建設された。

CNタワー (カナダ)

1976年開業。広州タワーに抜かれるまで、34年に渡って世界一の高さを誇った。床がガラス張りになっているフロアがあり、スリルも満点だ。

広州タワー (中国)

2010年開業。東京スカイツリーが塗り替えるまで、世界一高いタワーとして認定されていた。塔の中央部分がくびれているのが特徴的。屋上には観覧車が建造されている。

東京スカイツリー

ついに世界一のタワーとなった東京スカイツリー。これだけの高さを誇りながら、世界屈指の耐震性を持つのもこのタワーのスゴいところ。

828m

634m

600m

553.3m

540m

467.9m

421m

333m

324m

120m

西松建設職員組合

明治7年、24歳の青年、西松桂輔が土木工事請負業を終生の仕事と定め旗揚げたことから始まる西松建設は、文明開化のシンボルでもあった鉄道の下請け工事で誠実に作業を遂行することによって徐々に頭角をあらわし、今日まで歴史と技術を蓄積してきました。

現在では得意分野であるダムやトンネルなどの大型土木工事のみならず、建築工事の強化にも注力しています。

本社はサラリーマンの聖地・新橋と官庁街・霞が関から程近い虎ノ門にあります。組合事務所も本社屋8階の一角に構え、日々活動を行っています。

- 設立：昭和33年10月20日
- 組合員数：1391名(2012年6月15日現在)
- 組織率：約66.1%
- 支部数：14支部
- 本部執行委員数：6名
- 中央執行委員会：月4～5回

コミュニケーションを深めよう

わたしたちの賃金や労働環境を改善するために組合としてできることは何か。一つ目は、職員が置かれている厳しさを、今まで以上に会社に訴えていくことだと考えます。これは、会社に組合員の思いを届けるためにも、継続して取り組んでいかなければなりません。二つ目は、会社の生産性を向上させ、業績に貢献することだと考えます。そのためには、「誰もが働きやすさを感じられる、職場の充実したコミュニケーションの形成」に取り組むことが重要です。コミュニケーションが不足すると、ギスギスした職場になり、生産性も上がらないため会社の業績も上がらず、賃金も上がりません。今年度は「人と会って話す」という対話を重視しながら、情報の共有と本音での話し合いを同時進行させ、会社の経営を働く職場の切り口で前向きに検証し、組合活動でコミュニケーションを深めていきたいと思ひます。



永山中央執行委員長

笑顔のポスター

職員をモデルとした「笑顔のポスター」を作成しました。モデルには非組合員にも参加してもらっています。全職員に大変好評で、職員同士のコミュニケーションツールとして一役を担っています。



ノー残業パトロール

月2回、本社支部と会社が協働で本社社屋をパトロールしています。ノー残業デーのパトロールだと一目でわかるように、パト

ロール員がノー残業チョッキを着て見回りを行っています。「早く帰宅しましょう!」と声高らかに声掛けしているわけではなく「ご苦労様です。」と声掛けをしながらパトロールを実施しています。これは、早く帰りたくても、業務上どうしても残業をしなければならない方に配慮しています。このパトロールのおかげで、帰るきっかけができて良かったという声もあり、付き合ひで残っている人には喜んで頂けています。



木下書記長



みなさんにとってのWLB(ワーク・ライフ・バランス)とは?

WLBについて考える瞬間...それはライフの時間ではなくワークの合間の時間ではないでしょうか。機関紙「Question」では、WLB実現のヒントとして、組合員一人ひとりが実践するWLBを紹介する記事を2009年から不定期に8回掲載しています。概念の押し付けではなく、きっかけづくりに焦点を絞って活動しています。



知的で温かみを感じる永山委員長と、4年目を迎え円熟味を増した木下書記長に、これからの組合活動について熱く語って頂きました。ぜひとも、今まで以上にコミュニケーションを充実させて、今年1年素晴らしい活動になりますよう、日建協も全力で応援させていただきます!